

中国・四国地方の信用組合職員との合同勉強会を開催しました

- コロナ禍から社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、物価高騰や人手不足の影響等により、依然として厳しい状況に置かれている事業者の支援をテーマに、中国・四国地方の信用組合職員と財務局職員による合同勉強会を開催しました。
- 本勉強会は、参加者間の情報交換やコミュニケーションの充実、それぞれの立場から地域活性化に貢献することを目的に、平成30年度から開催しています。

日時：令和6年2月22日（木）13時15分～17時45分

場所：信用組合会館



福山ビジネスサポートセンター-Fuku-Bizによる基調講演
(高村センター長(左)、池内プロジェクトマネージャー(右))

令和5年度の勉強会概要

- 基調講演に続き、信用組合、財務局等の職員が8班に分かれグループワークを実施。
- 具体的な事例をもとに、事業者支援にどのように取り組むべきか、経営者の悩みに対してどのような提案をしていけばいいのか、検討しました。

○ テーマ：「人と地域を元気にする経営支援」

○ 基調講演：「経営支援の手法と事例」

(講師) 福山ビジネスサポートセンター-Fuku-Biz

高村 亨センター長、池内 精彦プロジェクトマネージャー

○ グループワーク：事例をもとにした提案検討(2事例)

○ 参加者：中国、四国地方に本店を有する信用組合の職員(33名)
中国財務局、四国財務局、金融庁の職員(15名)

取組みの成果

- 参加者からは、「取引先事業者の強みや課題を知り、成長のために柔軟な視点で提案することの大切さに気づいた」、「金融分野に携わる者同士、意見や情報の交換ができたので、日々の業務に活かしたい」といった意見をいただきました。
- 多様な意見に触れ、支援のあり方を議論することを通じ、新たな視点や気づき、職員同士のつながりを得られたことで、今後の更なる支援や各機関の連携が期待されます。当局としても今後もこうした連携の取組みを継続してまいります。



(グループワークの様子)